



東京都隊友会八王子支部便り『第 82 号』

【令和 6 年 1 月 25 日：東京都隊友会八王子支部発行】

I 八王子市自衛隊協力 4 団体共催「防衛講演会」開催（幹事：隊友会八王子支部）

令和 5 年 11 月 26 日（日）隊友会八王子支部、八王子市防衛協会、八王子市自衛隊家族会、募連協八王子支部の 4 団体共催で第 19 回目の「防衛講演会」を開催しました。講師は軍事ジャーナリストの能勢伸之氏をお迎えし演題は「ミサイル防衛」。北朝鮮のミサイル発射が続いている今日、私達国民はどの様に備えたら良いのかを弾道ミサイル・極超音速ミサイルなどについて学びました。講演会の参加者は 62 名、質疑応答も活発で、あっという間の 2 時間でした。講演会終了後は懇親会で 53 名が参加、懇親会には小田原潔代議士も駆けつけていただきました。また、隊友会八王子支部石田理事役がメンバーとなっているバンド、マルベリーズの演奏もあり、盛会理に終了しました。



講演する能勢講師



懇親会の模様
（演奏はマルベリーズ）

II 武蔵陵墓地清掃奉仕

令和 5 年 12 月 6 日（水）隊友会八王子支部は、八王子市自衛隊家族会、八王子市防衛協会の 3 団体で、17 回目の武蔵陵墓地清掃奉仕を行いました。コロナ後初めての奉仕活動で、参加人数は総数 20 名、八王子支部関係は 10 名の参加でした。マスク着用がない作業は呼吸が楽だなと感じながらの作業でした。通常個人では経験できない陵墓内における清掃活動、落ち葉を御陵脇の溝から取り除く作業。心身ともにリフレッシュ、静かな御陵の中で皆さん凜として、そしていい汗を流していました。今回、東京都隊友会事務局から配布していただいたベストを着用して作業していたところ参加者からなかなかいいねという声をいただきました。



青空の下、御陵前での清掃奉仕団



東京都隊友会八王子支部便り『第 82 号』

【令和 6 年 1 月 25 日:東京都隊友会八王子支部発行】

Ⅲ 千鳥ヶ淵戦没者秋季慰霊祭支援

令和 5 年 10 月 18 日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において秋季慰霊祭が執り行われた。コロナ渦の 3 年間は、縮小して実施された慰霊祭だが、今年は通常の規模に戻り、東京都隊友会から約 70 名の会員が運営の支援をした。八王子支部からは、杉澤敬子（理事役）、杉澤光男（会員）、荒木紫帆（部特別会員予定者）、戸田幸子（理事役）が参加した。

式典は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、内閣総理大臣（代理）、戦没者ご遺族、戦友会関係者、閣僚、政党党首（代理）、自衛隊高官等が参列し、墓苑に眠る 127 万柱の御霊と、海外等で一日も早い祖国日本への帰還を待つ全ての戦没者に対して感謝と哀悼の意を捧げた。

今年初めて海上自衛隊男性自衛官の力強い国家斉唱が行われ、例年通り、陸上、海上、航空各自衛隊の統合部隊による儀仗と音楽隊の演奏により、厳粛な慰霊祭となった。

運営開始前に、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会 塚田理事長より「本日の秋季慰霊祭は、墓苑において大きな年間行事のひとつであり、隊友会の皆様のご支援なしには実施できないものになっています」と、ご挨拶をいただいた。その後は、式典進行、中央案内、来賓受付、遺族会・戦友会受付、駐車場誘導等々の担当に分かれて活動した。

予備自衛官の私は、元自衛官である諸先輩方の規律ある、手際のよい動きに毎回、感銘を受けながら活動に参加させていただいている。

※墓苑がある千鳥ヶ淵は、千鳥が羽を広げている形に似ていることに由来しています。千鳥ヶ淵のお濠、緑道に隣接する墓苑は、戦没者を祀る鎮魂の場所であり、戦没者の慰霊のための聖域となっています。戦争により犠牲になられた方々へ深い哀悼の意を表し、恒久の平和を祈念するためには是非訪れていただきたい場所です。

（文・写真 理事役 戸田幸子）



右端が戸田理事役

